

振り返りツール R80 (R=Reflection [反映], Restructure [再構築] の頭文字) を活用した授業の振り返り

1 趣旨

授業の振り返りを行う際に R80 を活用して、児童生徒に学習内容を言語化し記録することにより深い学びを促す。

2 前提

授業等の活動は、「①めあての提示、②問いの設定、③振り返り」の構造を必須とする。

3 ルール

- (1) 2文でまとめる。
- (2) 第2文には、文頭に接続詞を使う。
- (3) 80字以内でまとめる。


4 記入シート例

めあて	
/	
() 限	
メモ	

5 参考となる接続詞

順接 だから、すると、したがって、ゆえに、よって、逆接 しかし、ところが、並列 また、そして、それから、および、ならびに、添加 そして、また、それから、さらに、選択 または、あるいは、もしくは、説明①理由：なぜなら、②換言：つまり、要するに、③例示：たとえば、いわば④補足：ただし、もともと、なお

6 記入例

めあて	三平方の定理を証明し、理解を深める
Q / △	一般に $a^2 + b^2 = c^2$ が成り立ち、これはイメーシシに小さい子なのである。しかし、図1のように直角三角形の各辺
(図) ④限	をそれぞれ a, b, c とする。この正方形の面積を比較することによって、実際の証明にも使える。
メモ 図1	 式1 $a^2 + b^2 = c^2$